



在宅医療連携拠点事業推進協議会 これからの在宅医療と地域生活にむけて

今回は、これからの高梁市の在宅医療について、仲田永造会長にお話を聞きました。
高梁市は、平成 25 年度より岡山県の委託を受けて、在宅医療に関する事業や啓発活動を実施してきました。平成 28 年度からこれらの成果を踏まえ、「介護保険法の地域支援事業」として位置づけられます。

今後は、これまで実施してきた癌患者への取り組み等に加えて、認知症の人を支える仕組みも検討していきたいとのことでした。がん患者とは違い、認知症の終末期の訪れまでは期間が長いので、日常生活を営む力(ADL)を維持することを中心とした在宅医療が大切であると話されていました。



また、理学療法士や作業療法士だけでなく、医療および福祉に関わるあらゆる人々や関係機関、組織が連携し在宅療養者へ地域全体でリハビリを行う、地域リハビリテーションの考え方も重要となるため、その支援体制の整備もしていきたいと話されました。その他、高梁市が抱える課題を視野に入れながら、在宅医療に関する事業を実施していきたいとのことでした。

高齢者が住み慣れた地域で生活して、体調によっては病院や施設を活用する。そして、少しでも長く、在宅での生活を継続することができるような高梁市にしたい、との言葉に力強さを感じました。

文責 岡崎 幸友准教授(吉備国際大学社会福祉学科)

☎ 保険課連携推進係 ☎21-0304

青少年健全育成 功労者表彰

青少年の健全育成に貢献している個人・団体を表彰する青少年健全育成功労者表彰が、2月5日に市役所で行われました。

☎ 社会教育課生涯学習係 ☎21-1514



左から有漢子供神楽クラブ・子原勝正さん、高梁クライミング少年団・杉田守二さん、成羽ジュニアバレーボールスポーツ少年団・近久美紀さん

有漢子供神楽クラブ

平成19年度の結成以来、有漢生涯学習センターで活動しており、市内外のイベント出演や介護施設の慰問など積極的な地域貢献活動を行っています。国の重要無形民俗文化財である備中神楽を青少年に継承するとともに、イベント参加や施設慰問を通じて地域の方と触れ合う機会を提供することで、青少年の健全育成を図っています。

高梁クライミング少年団

平成22年4月の結成以来、高梁市民体育館や市内クライミング場で活動しており、青少年の技術・体力の向上や仲間との協調性の育成に尽力しています。クライミングの活動以外にも草刈清掃等の地域貢献活動や市内外の大会で他団体との交流を図っており、青少年の健全育成に大きく貢献しています。

成羽ジュニアバレーボール スポーツ少年団

平成12年に結成以来、成羽小学校体育館で、小学生を中心に活動しており、市内の他団体ともバレーボールを通じて交流を図っています。バレーボールの技術向上の指導はもとより、あいさつの意味や仲間を思う気持ちなど、人として生きていく上で大切な心の育成も図っており、青少年の健全育成に大きく貢献しています。

方谷賞

市内の高等学校や大学等で学び、在学中に学業や文化・スポーツ活動、ボランティア活動、国際交流に積極的に取り組み、その活動が優秀と認められた学生、団体に贈る方谷賞の受賞者が決定しました。

☎ 秘書政策課秘書係 ☎21-0201



小林 生佳さん (川面町) 高梁高等学校

山本 英治さん (川上町地頭) 高梁城南高等学校

榎村 裕之さん (御前町) 岡山県高梁日新高等学校

大松 滉一朗さん (新見市) 宇治高等学校

赤木 志帆さん (新見市) 松山高等学校

河合 智子さん (総社市) 順正高等看護福祉専門学校

北垣 悠希さん (本町) 吉備国際大学

崔 善基さん (韓国出身) 吉備国際大学

松村 夏佳さん (岡山市) 吉備国際大学短期大学部

協力隊がゆく

有漢町担当の坂本です。吉備ケーブルテレビで放送されている子育て応援ドラマ「さくらとあゆ」高梁で生まれた私の物語」が盛り上がりつつありますね。見逃した方は、再放送をぜひご覧ください。僕もちょっとだけ出演しています。ドラマにあるように、出産や定住の支援政策が盛んな高梁市は、子どもの発育、成長にも適した場所だと思います。



坂本陽隊員 (有漢地域)

先月、高梁美しい森で行われた「里山冒険遊び」というイベントでもたくさんの子どもたちが多くの発見をしています。その中で、刃物や火などの危ないものを扱う時、子どもは一番楽しんでるように見えました。そしておそらく、その時に多くのものを学んでいます。小動物や竹の質感、樹皮などを五感で感じてみる。机の上や屋内ではできない、そういったことが人に大きな影響を与えます。それができるのも、高梁の美しい川や森、田畑があってこそだと思います。

僕も子どもたちに負けず、好奇心豊かに、来年の就農に向けて技術を習得していきます。



「里山冒険遊び」の参加者に竹枝の扱い方を教える坂本隊員